

学級日誌をシステム化する -ICTを活用した仕事の改善-

今度、学級日誌はパソコンになるんだって、私イラスト書くのが好きだったんだけど、どうなるんだろう。

今は何でもIT化されてる時代だよ。学級日誌も最先端になるよ

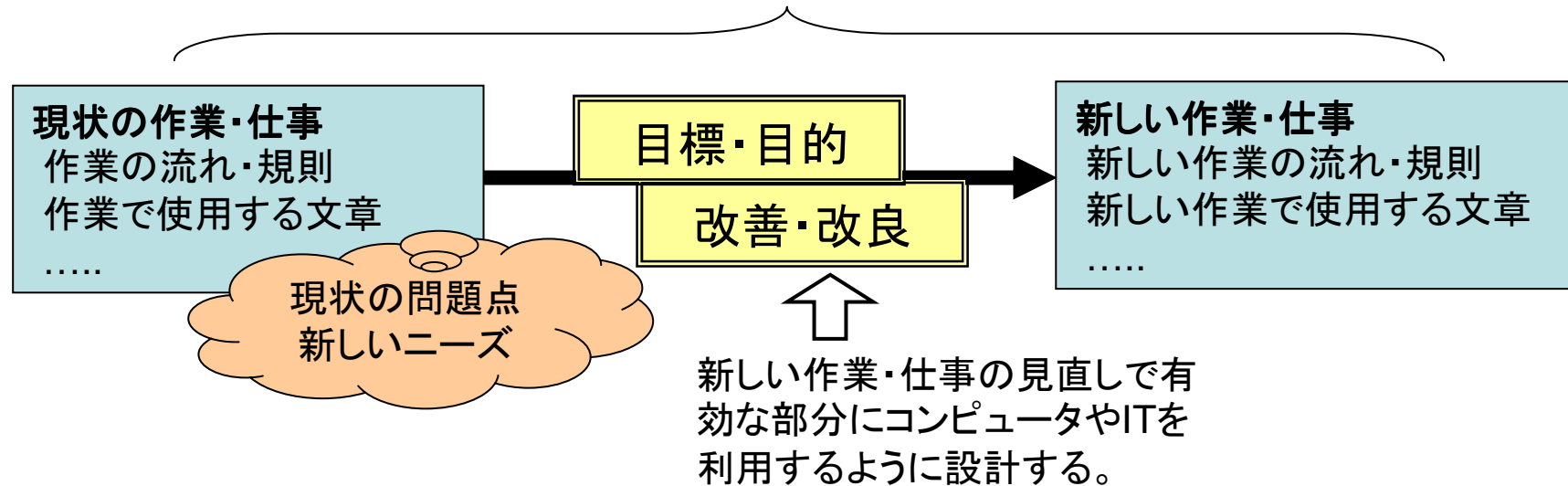


世の中のいろいろな仕事でコンピュータやITが使用されています。ここでは、学級内の仕事でICTを活用することを考えていきましょう。ただし、ここでは**システム化**という言葉を中心に作業を進めていきます。

Top Page 黒板を超えて Returns
高校「情報科」の教材・指導案作ってみました。
<http://www.beyondbb.jp/>

システム化は、コンピュータ化やICTの活用とは違います

システム化

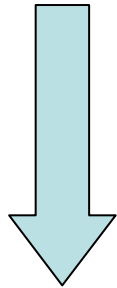


システムとはいろいろな意味を持ちますが、世界的な定義の一つとして「システムとは、定義された目的を成し遂げるための、相互に作用する要素を組み合わせたものである。これにはハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、人、情報、技術、設備、サービスおよび他の支援要素を含む」というものがあります。システムは単にコンピュータやITを示すものでなく、人の作業も含む大きな流れを示します。またシステム化もいろいろな定義がありますが、最適な仕事の成果・成果物が誰でも間違いなく効率よく作成できるようにするものです。



システム化の例、飲食店のシステム化

目標・目的



改善・改良

利益を上げる

売り上げを上げる、原価を低くする
多くのお客さんに来てもらう。
お客さんにお金を使ってもらう
食材の費用がかからないようにする
従業員の給与がかからないようにする

ITや機材で無い部分

内装の変更 お客さんの印象の向上、配膳・注文取りのしやすさ
料理内容の変更 お客さんの集客の向上
メニューの変更 お客さんの見やすさ、目玉料理の選択へ誘導
接客能力の向上 従業員の教育、マニュアル整備
注文の取り方の変更 注文ミスの減少
調理方法の見直し 短時間での料理の提供
織り込みチラシ お客の集客の向上

ITや機材の部分

POSの導入 精算ミスの減少、精算の迅速化
注文システムの導入 お客さんの注文数の増加、従業員の削減
Webでの広告ニューの変更 お客の集客の向上
自動食器洗い機の導入 従業員の削減

個々の改善・改良のポイントを別々の考えるのではなく、全体として、全体の仕事の流れとして、導入の費用や効果などを考慮してシステム化していきます。

コンピュータ化・IT化でもいろいろな方法がある。

電話による株式
売買注文



証券会社

電話で注文を受け、
証券会社から売買
システムで注文



証券取引所
株式売買シス
テム

Webによる売
買注文1(本格的
的)



証券会社

株式売買注文システム

Webからの注文で自動的に売買を注文

証券取引所
株式売買シス
テム

Webによる売
買注文2(簡易
版)



証券会社

Webの注文結果を
見て、証券会社から
売買システムで注文

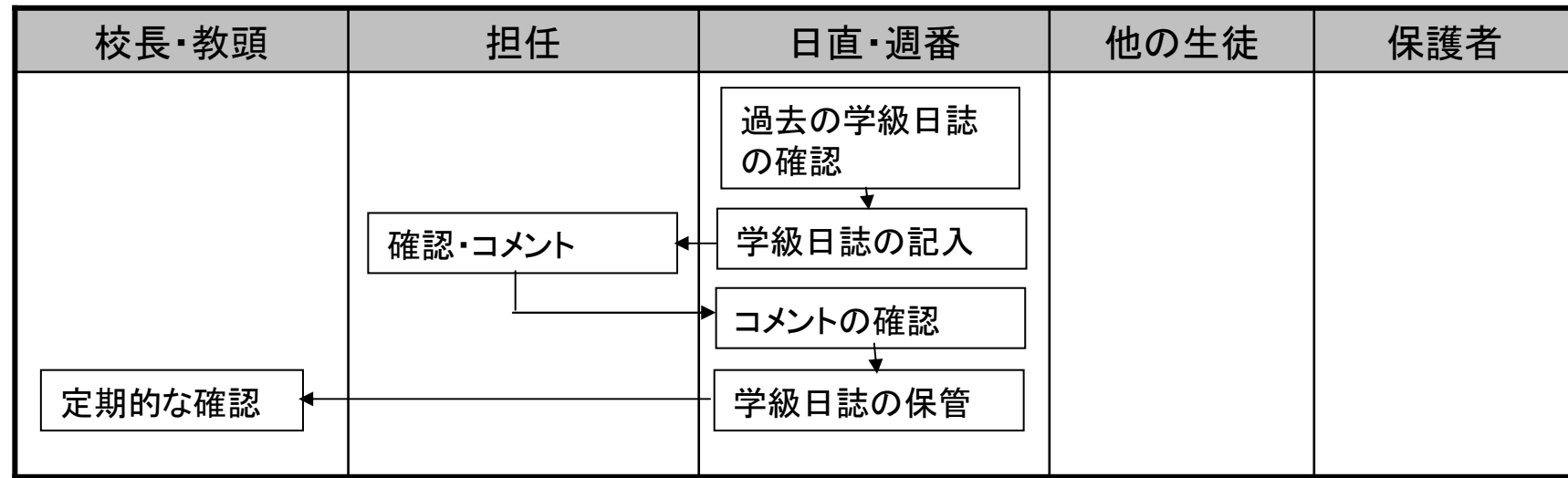


証券取引所
株式売買シス
テム

Webによる売買注文では本格的な物の簡易版でも、利用者からみ見ると、とりあえずWebで注文できます。簡易版の方は証券会社はあまり費用をかけずにサービスを提供できます(現在では簡易版は無くなっていますが)。



現状を分析しよう No1. = 現在の作業の流れを考える



システム化を行う場合に、まず現状がどうなっているか明確にする必要があります。このため、現在の作業の内容のフローを書き出す場合があります。必要に応じて、個々の作業の補足的な説明を書き出しましょう。



現状を分析しよう No2. = 現在の問題点とニーズを洗い出す

| 区分 | 内容 | 備考 |
|--------|--|--|
| 現状の問題点 | <ul style="list-style-type: none">・日直/週番にならないと日誌を見ない・..... | <ul style="list-style-type: none">・見ようと思えば見られる |
| ニーズ | <ul style="list-style-type: none">・保護者も学級日誌の内容を見たい要望がある・..... | |



現状の分析で重要なことは、問題点を洗い出すことです。また、もっとこうやりたい、こうなれば良いなどをニーズとして洗い出していきます。

システム化の目的・目標を決めよう

| 内容 | 優先度 | 難易度 | 備考 |
|--------------------------|-----|-----|----|
| ・生徒がいつでも学級日誌を見れるようにする | | | |
| ・日直/週番以外の生徒もコメントできるようにする | | | |
| ・..... | | | |
| ・..... | | | |

現状の分析が終わったら、次におおまかにどのような改良・改善していくかを決めるため、システム化の目的・目標を書き出します。その時、どんなことから実施するか目安にするため優先度を決めましょう。また、可能ならば、示現するための費用や実現性の観点から難易度を設定しましょう。

コンピュータやITを導入すること自体はシステム化の直接的な目的や目標ではありません。ただし、次のような場合は目的・目標になります。

- ・学級日誌がインターネットを使って保護者が見ることができるようにする。
- ・成績のデータベースを構築して、記帳や参照の時間を短縮する。



使用するICTシステムを検討する。

| 実現方法 | 長所 | 短所 | 備考(考慮点など) |
|------------------|----|----|-----------|
| 紙の日誌をスキャナーで読み込む | | | |
| Wordで日誌を作成 | | | |
| BlogやWebページで作成 | | | |
| Facebook等のSNSで作成 | | | |
| 学級日誌の専用ソフトで作成 | | | |

学級日誌をパソコンでやるといっても、いろいろな方法があって迷っちゃうね。



それぞれの長所や短所などを考えてみよう。

新しい作業の流れを考える

| 校長・教頭 | 担任 | 日直・週番 | 他の生徒 | 保護者 |
|-------|----|-------|------|-----|
| | | | | |

システムの目的や目標・使用するICTシステムが決まったら、それらをもとに新しい作業の流れを作成します。必要に応じて個々の作業の詳細な内容を決めます。

システム化においては、作業の流れ全体を見て、無駄を省いたり、データのチェックの強化をおこなったりします。その流れの中で必要に応じてコンピュータやITを組み込んでいきます。



準備・導入・使用・評価

準備

導入・移行

使用・評価

機材などの用意

新しい学級日誌利用のための規則作り

新しい学級日誌を使用するための練習

問題・障害が起きた場合の対応方法の規則作り

過去の学級日誌の利用方法の検討

実際の学級日誌の記入、参照など

ICTシステムの動作の確認

利用状況のモニタリング

操作性などの評価

システムの見直しの検討

システム化においては、使い始める前にいろいろな準備が必要です。また使い始めた後にも、新しい作業の方法が問題がないか評価します。もし問題があるような時は、見直しをします。

